

令和4年度（2022年度）経済環境常任委員会管内視察の概要

- 1 視察日 令和4年（2022年）11月22日（火）
- 2 視察者 経済環境常任委員会（8名）
中村亮彦（委員長）、荒川知章（副委員長）、鎌田聡、
吉永和世、高野洋介、橋口海平、竹崎和虎、堤泰之

3 視察の概要

（1）株式会社アスカインデックス（水俣市）

株式会社アスカインデックスは、東京を本拠とし、半導体・液晶製造装置などを含む中古機械販売やクリーンルームの設計・施工などを行う企業であり、水俣市の水俣高度技術センターにおいては主に半導体電子デバイスの試作、受託を行っている。



今回の視察では、本年9月に開始した、実際の装置を使って半導体製造プロセスを学べる半導体研修センターの取組について説明を受け、施設内を視察した。

株式会社アスカインデックスからは、実際の装置を使った半導体プロセスを学べる研修であり、民間企業のほか学校関係者の研修も受け入れたいと考えている、TSMCの進出に当たって重要な半導体関連の人材育成に寄与できるとの説明があった。

（2）セミコンテクノパーク及びTSMC（菊陽町）

菊池市・合志市にまたがる当該エリアは、セミコンテクノパークと呼ばれる半導体製造関連の協力企業が多く集まる半導体関連の一大集積地であり、今回TSMCが、日本工場を建設中である。



今回の視察では、セミコンテクノパークの概要及び建設中の工場の現地視察を行った。

執行部からは、セミコンテクノパークの入居企業、TSMC、本県における半導体産業集積強化推進本部の概要などについて説明があった。

(3) 熊本県立技術短期大学校（菊陽町）

熊本県立技術短期大学校は、県立の職業能力短期大学校であり、「熊本県産業の高度化、高付加価値化に対応できる高度な技能および知識を兼ね備えた実践技術者を育成し、熊本県の経済社会の発展に寄与する」を基本理念として運営されている。

今回の視察では、現在の運営状況について説明を受け、学校内を視察した。

熊本県立技術短期大学校からは、就職率100%、県内就職率80%と高い就職率で、多くの実践技術者を輩出している、今年度から外国人留学生の受け入れを始めたほか、令和6年4月には、半導体製造と半導体製造装置に関する技能、技術を有する電子及び機械の実践技術者を育成するための新学科設立を予定しているとの説明があった。

